

ビッグフローティングディスクローターキット 取扱説明書

製品番号	06-08-0103 (円形状)
	06-08-0108 (ウェーブ形状)

適応車種及び フレーム番号	KSR110	KL110A-000001 ~ KL110A-A02833 ~
	KSR110 (KL110CBF)	JKAKL110CCDA00058 ~
	KSR110 (KL110DDF)	KL110D-A57002 ~
	KSR PRO (KL110EEF)	JKAKL110EEDA88121 ~
	KSR-I	MX050B-000001 ~
	KSR-II	MX080B-000001 ~

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎ブレーキフルードは銘柄の異なるブレーキ液を混用しないで下さい。(トラブルの原因及び化学変化の恐れがあります。)

◎当製品で使用されているバンジョーボルトのネジピッチはM10x1.25です。取り付け前に使用するマスターシリンダーのネジピッチが同一であることを確認して下さい。

◎アルマイト製品は経年変化により、色褪せ等発生する場合があります。予めご了承下さい。

◎取扱説明書や純正サービスマニュアルは、基本的な技術や知識を持った方を対象に作成しております。

取り付けに自信の無い方や、取り付けに必要となる工具等をお持ちで無い場合は、取り付け作業は行わずに、指定工場、又は認証工場などの車両整備が可能な業者へ取り付けをご依頼下さい。

◎車両に部品を取り付けた後、走行をする前にブレーキパッドがディスクにしっかり当たり、ブレーキが完全に効くまでブレーキレバーの操作を行って下さい。

◎新品状態で行き成りハードブレーキ操作を行わないで下さい。最初は軽いブレーキ操作で徐々にブレーキディスクに当たりを付け、一旦ブレーキ温度を冷まします。ディスクローターとブレーキパッドが完全に当たりが付くまでこの操作を行って下さい。

又、ブレーキは冷えている場合効きが悪い状態で、ある一定の温度に上がらなると安定した制動力を発揮しません。十分注意してご使用下さい。

◎新品のディスク、ブレーキパッド装着後はブレーキの効きが悪い状態です。当たりが出るまでブレーキの効きに十分注意しながら走行を行って下さい。

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

◎当製品の取り付け作業の際は、上記適応車種にあった純正サービスマニュアルを参照し確実に行って下さい。

～特徴～

○ディスクローター外径はφ 225のビッグサイズを採用。有効径を大きくすることで、制動力が向上します。

(KSR110/KSR PRO 純正ディスク外径：φ 200、KSR-I/KSR-II 純正ディスク外径：φ 220)

○ウェーブ形状タイプは、外周に凹形状を採用する事で、冷却性能とブレーキパッドのクリーニング効果を向上させ安定した制動力を発揮します。

○片押し2POT キャリパーを付属。

○専用キャリパーブラケットの為、フォークブラケット部が異なるKSR-I/KSR-II及びKSR110/KSR PRO車両のネジ位置を変更するだけで対応。

○ブレーキング時、ローターの熱歪みにより摩擦面精度が低下し、ブレーキ性能低下を引き起こす事があります。当製品はフローティングディスクローターを採用しており、ホイール取り付け部のハブとディスクローター部を2ピース構造にする事により、ローターの熱歪みによる影響を最小限に抑さえ安定したブレーキ性能を維持する事が出来ます。

○ディスクローター部はメンテナンス性に優れたステンレス製を採用し、取り付けハブ部には高強度なアルミ合金材を使用し軽量、高強度に仕上げております。又、ゴールドアルマイト処理により耐食性と質感を向上させ、取り付け時のカスタム感を演出します。

○テフロンチューブをステンレスブレードで覆った低膨張率のブレーキホースを使用し、ダイレクトで確実なブレーキングを実現します。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

■作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)

■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)

■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)

■製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)

■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。(部品の脱落の原因となります。)

■ブレーキホースに使用するシーリングワッシャは、着脱ごとに必ず新品部品を使用して下さい。(ブレーキフルードの漏れ、トラブルの原因となります。)

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)

■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)

■ブレーキディスクローター及びブレーキパッドに油脂類を付着させない事。万一、付着した場合はパッドは交換し、ディスクローターは脱脂する事。(事故につながる恐れがあります。)

■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。(事故につながる恐れがあります。)

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東3-5-16

TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>

お問い合わせ専用ダイヤル：0721-25-8857

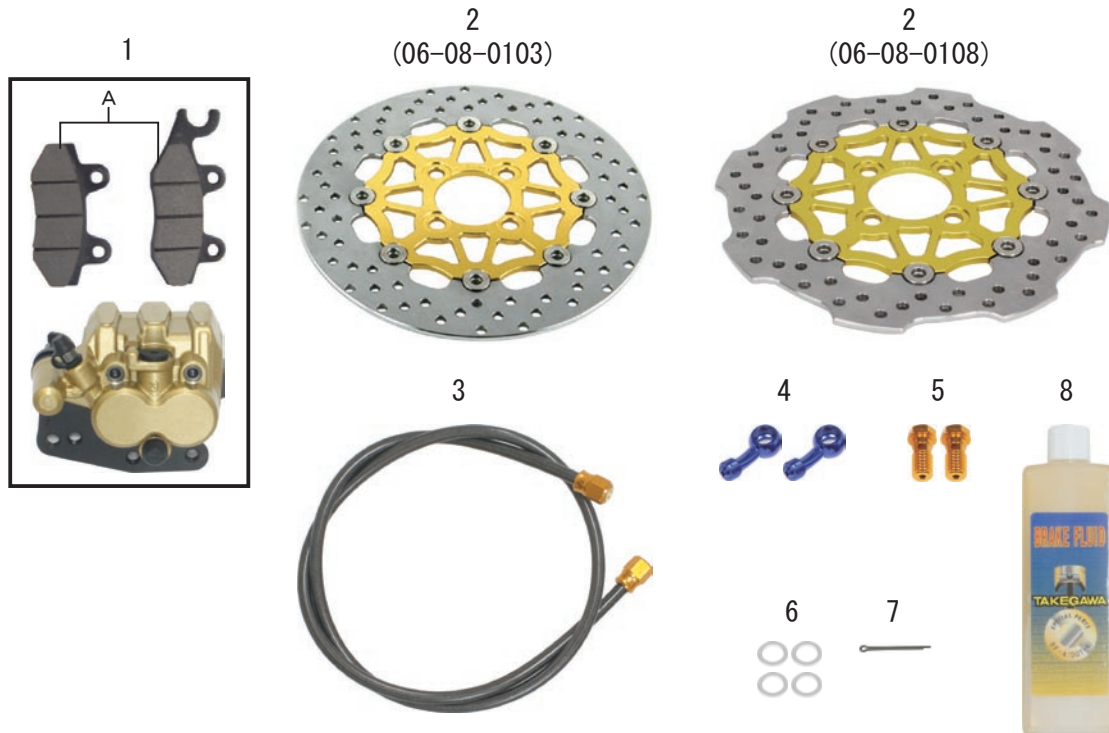
◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。

但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

製品内容



番号	部品名	個数	リペア品番
1	フロントブレーキキャリパー ASSY.	1	06-08-117
2	ディスクローター COMP.	1	45200-KL1-T00 (円形状) 00-06-0111 (ウェーブ形状)
3	ブレーキホース (960mm)	1	06-08-0105
4	バンジョー (25°)	2	00-07-0037
5	バンジョーボルト M10x1.25	2	00-07-0097 (シーリングワッシャ付)
6	シーリングワッシャ 10mm	4	00-07-0010 (10ヶ入り)
7	割りピン 2.5x25	1	00-00-0645 (3ヶ入り)
8	ブレーキフルード (BF-4)	1	06-08-0019
A	フロントブレーキパッドセット	1セット	06-08-0020 (1セット)

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。

品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。

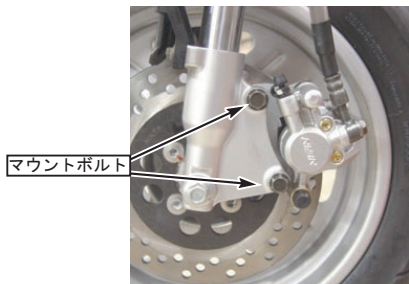
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいますようお願い致します。

※作業はKSR110を前提とした内容になります。

- 車両をしっかりと安定させます。
- 純正サービスマニュアルを参照しブレーキフルードを抜き、ブレーキホースをブレーキキャリパー、マスターシリンダーから取り外します。
- ※ブレーキフルードが塗装面に付着すると、塗装表面の剥離や変色等の損傷を与えます。付着したブレーキフルードはすぐに、クリーナー、又は水で洗い流して下さい。



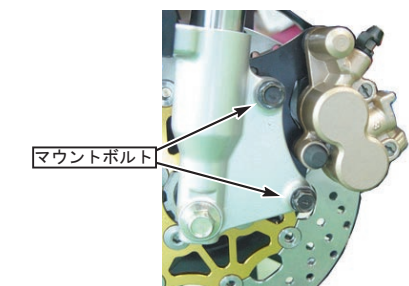
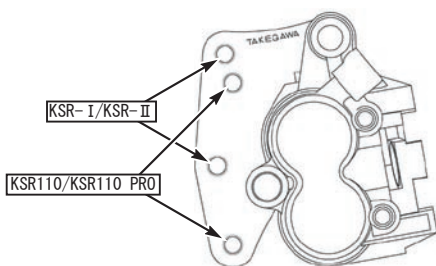
- キャリパーマウントボルトを外し、フロントフォークからブレーキキャリパーを取り外します。



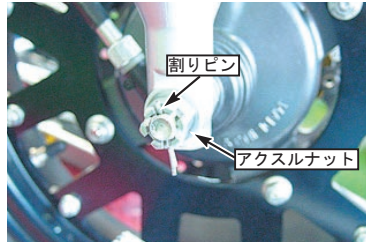
- キット内のフロントブレーキキャリパー ASSY. をフロントフォークにキャリパーマウントボルトを用いて取り付け規定トルクまで締め付けます。

- ※キャリパーの取り付けブラケットには、各車種専用の取り付けタップがあります。図を参考に車種に合った位置に取り付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
キャリパーマウントボルト
トルク：24.5N・m (2.5kgf・m)



- フロントアクスル部の割リピンを外し、アクスルナットを取り外します。



- フロントアップスタンド等を使用し、フロントホイールをジャッキアップします。

⚠注意：必ず車両を安定させる事。

- アクスルシャフトを取り外し、フロントフォークからフロントホイールを取り外します。
- フロントホイールからディスクボルト4本を取り外し、ディスクローターを取り外します。
- フロントホイールに、キットのディスクローターを取り付け、新品のディスクボルト4本を用いて取り付け、規定トルクまで締め付けます。
カワサキ純正 ソケットボルト 8x30

KSR110/KSR PRO : 92150-1771

KSR-I /KSR-II : 92001-1995

- ※ディスクボルトを再使用する場合、ネジロック剤の塗布をお願いします。

推奨ネジロック剤：ロックタイト 241

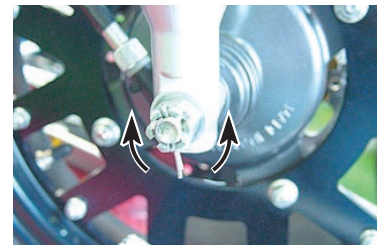
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ディスクボルト
トルク：27N・m (2.75kgf・m)



- ホイールサイドカラーの汚れを拭き取り、フロントホイール、ダストシールリップ部にグリスを塗布しフロントホイールにサイドカラーを取り付けます。
- スピードメーターギアハウジング内部の突起とホイールのギアドライブ切り欠きを噛み合わせます。ギアハウジングストッパをフォークのストッパの間に入れ、ホイールをフロントフォークに装着します。
左側よりアクスルシャフトを取り付け、アクスルナットを取り付け仮締めします。
- フロントのジャッキアップを外し、フロントホイールを安定させた状態でアクスルナットを規定トルクまで締め付けます。

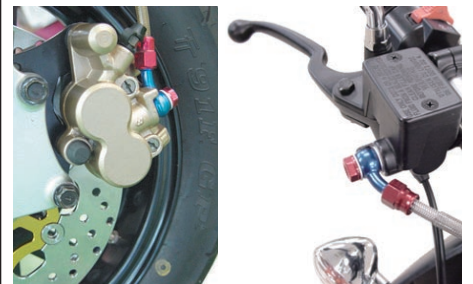
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
アクスルナット
トルク：64N・m (6.5kgf・m)

- キット内の割リピン 2.5x25 をアクスルシャフトに取り付けセットします。



⚠警告：ブレーキディスクローター及びブレーキパッドに油脂類を付着させない事。
万一、付着した場合、パッドは交換し、ディスクローターは脱脂する事。

- マスターシリンダー及びフロントブレーキキャリパー ASSY. にバンジョーボルト、シーリングワッシャ、バンジョー、シーリングワッシャの順に通しマスターシリンダー及びフロントブレーキキャリパー ASSY. に取り付け仮締めし、ブレーキホースを取り回し各バンジョーに取り付け仮締めします。



- ハンドルを左右に一杯切った状態、フロントフォークがフルストローク、及びリバウンド時でもブレーキホースに無理な力が掛からない様、取り回しを調整しバンジョーボルト、フィッティングを規定トルクまで締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
バンジョーボルト
トルク：12.7 ~ 14.7N・m (1.3 ~ 1.5kgf・m)
フィッティング
トルク：4.9 ~ 5.4N・m (0.5 ~ 0.6kgf・m)

- ブレーキのエア抜き要領を参照し、ブレーキフルードを補充しエア抜き作業を行います。
- ブレーキエア抜き作業終了後、ブレーキパッドがディスクローターにしっかりと当たるまでブレーキレバーを操作し、ブレーキフルードの漏れ、各部を再度確認します。
- 作業で付着した汚れを拭き取ります。

ブレーキのエア抜き要領

⚠ 注意

- ブレーキフルード補充時にゴミや水を混入させない事。
- 銘柄の異なるブレーキフルードを混用しない事。
- ブレーキフルードは付属のものを使用する事。DOT4 (BF-4)
- 抜き取ったブレーキフルードは再使用しない事。
- ブレーキフルードは塗装、プラスチック、ゴム面を傷めるので部品類に付着させない事。
- ブレーキホースの取り外しの際など油圧系統に空気が混入した場合は、油圧系統のエア抜きをする事。
- シーリングワッシャは再使用しない事。
- 規定トルクは必ず守る事。

⚠ 警告

- ブレーキディスクローター及びブレーキパッドに油脂類を付着させない事。
万一、付着した場合はパッドを交換し、ディスクローターは脱脂する事。
- 損傷部品が見つければその部品は必ず新品と交換する事。

- ・フロントブレーキマスターシリンダー ASSY. の2本のフラットパンスクリューを取り外し、マスターシリンダーキャップ、ダイヤフラムを取り外す。



- ・ブレーキキャリパー ASSY. のブリーダーバルブに透明なブリーダーホースを接続し、ホースの反対側に適当なカップなどで受ける様にする。



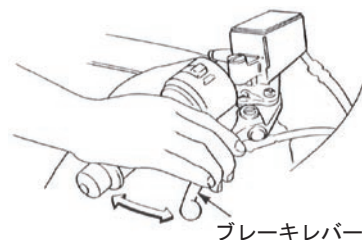
- ・フロントブレーキマスターシリンダー ASSY. のカップ内にブレーキフルードを上限線まで補充する。



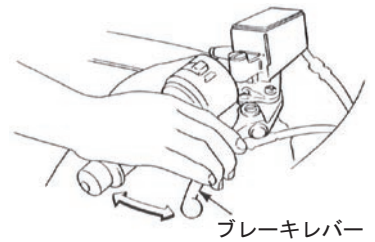
- ⚠ 注意：ゴミや水を混入させない事。
- ⚠ 注意：銘柄の異なるブレーキフルードを混用しない事。

- ・ブリーダーバルブを1/2回転緩め、ブレーキレバーを握る、放すを繰り返し、ブリーダーバルブからブレーキフルードが充分出てくるまでこの作業を繰り返す。

- ※オイルカップのブレーキフルード量に注意し新しいブレーキフルードを補充しながら作業を行う。



- ・ブレーキレバーを握ったままブレーキキャリパー ASSY. のブリーダーバルブを1/2回転緩めた後、再び締め付ける (①)。
※ブリーダーバルブを緩めた状態でブレーキレバーを戻さない事。
- ・ブレーキレバーをゆっくりと戻し、完全に戻ったらそのまま数秒間放置する (②)。



- ・①、②の操作をブリーダーバルブから気泡が出なくなるまで繰り返す。
※カップ内のブレーキフルードの量を確認しながら作業を行い、下限線付近まで減少していれば補充する。

- ・ブリーダーバルブから出てくるブレーキフルードにエアの混入が無くなればブリーダーバルブを規定トルクで締め付ける。



- ⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ブリーダーバルブ
トルク：5.9N・m (0.6kgf・m)

- ・オイルカップの上限線までブレーキフルードを補充し、ダイヤフラム、マスターシリンダーキャップをフラットパンスクリュー2本を用いて取り付け。



- ⚠ 注意：ゴミや水を混入させない事。